

行進歌 第二 (讀は横も見字を用也)

一、あ、勢動は神聖のこの天職を悟り、

久遠の理想を自指してぞ進む我等の意氣雄々し

二、見よ、篝火の其の旗を正義に燃ゆる中の火は

血潮の色が紐に昇らば天を焦すらん

三、とこしへ香しい月桂樹結ぶリボンに團結の

固き心を誓ひてぞ進む我等を見よや見よ

四、いざ起て奮へ我友よ奮へや奮へ我友よ

一度起たば何事か天下の偉業成らざらん

大正八年八月四日

友愛會京都聯合會